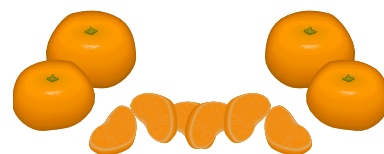


住吉台中学校区 学校支援地域本部だより

～住吉台小学校★住吉台中学校～
平成25年度版 NO.8

発行 住吉台中学校区
学校支援地域本部
連絡先 080-1816-9979
宮本・佐藤
平成25年11月26日発行



中学校



★ 地球のステージ ★



10月22日(火)、中学校体育館で『地球のステージ』が上演されました。これは医師の桑山紀彦さんが世界の紛争や貧困などを伝えるステージで、今回は泉区まちづくり推進協議会の青少年育成事業のひとつとして開催されました。

映像と語りと歌で構成されるステージは見ごたえがあり、中学生と一緒に参加した6年生も真剣に鑑賞していました。



今回は世界の様子だけではなく、東日本大震災時に桑山さん自身が体験した津波被害や診療風景、出会った人々との映像も含まれ、児童生徒の心にも深く届いた様子でした。

★ コミセン清掃 ★

10月27日(日)、この日は年に2回行われるコミセン清掃の日でした。中学生のボランティア6名が今回初参加。清掃は机やイスを運んだり力仕事も多いのですが、テキパキした中学生の働きのお陰で、今までにない速さで清掃を終えることができました。また、当初の割り当てが終わると、「次にやることありますか」と声をかけてくれるなど、清掃に参加された地域の方々も、中学生の前向きな態度に感心されていました。



伊藤智教頭先生を偲んで

11月19日(火)に急逝された伊藤智教頭先生は、学校支援地域本部の活動に熱心に取り組んでくださり、私たちスーパーバイザーを支えてくださいました。また小学生のイベント、「ウォークラリー」のボランティアなど、中学校にとどまらず地域活動にも積極的に参加してくださいました。生前のご厚情に感謝するとともに心よりご冥福をお祈りいたします。



小学校



★ 6年生 内藤以貫を学ぶ ★

昨年度より、ゲストティーチャーとして地域の『内藤以貫の墓 管理保存会』の方をお招きして、住吉台に縁のある内藤以貫について学習しています。

江戸時代に儒学者として伊達家に仕え、書家でもあった以貫。日清戦争の戦後処理時に二百年の時を越えて話題にあがった以貫の『書』についてなど、深い歴史の知識に裏付けされた当時の出来事や貨幣価値なども織り交ぜてのお話は、大変興味深いものでした。

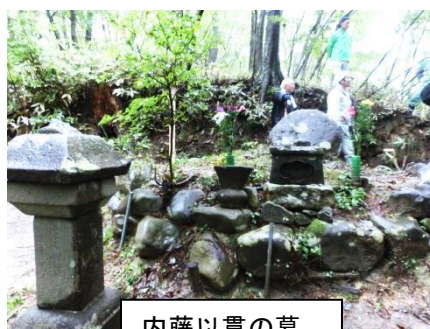


酒井さん



継枝さん

千葉さん



内藤以貫の墓



新設の墓標

★ オオムラサキクラブの奇跡 ★

平成3年から、地域の「オオムラサキの舞うふる里を育てる会」の皆さんにご指導いただきながら活動をしているオオムラサキクラブに、今年は奇跡が起きました。

本来なら幼虫で越冬し、来夏に羽化するオオムラサキ。今年は夏に生まれた幼虫が1匹10月にサナギになり11月にメスの蝶に羽化しました。



10月18日
サナギになる直前の
6令幼虫発見！



10月20日
サナギに！



11月13日羽化
翌14日 エサを吸っているところ

サナギになる直前に寒さ対策で室内にいれましたが、11月に蝶が羽化することは大変珍しいそうです。（1年間に2度目の羽化なので2化蝶と呼ぶそうです。）

窓越しの日差しを浴びると、元気に羽ばたき11月であることを忘れてしまいそうです。

蝶の様子は河北新報の取材を受け11月20日の朝刊に掲載されました。

幼虫のエサとしてかかせないのがエノキ。そのエノキをオオムラサキハウスの傍に4本植樹する予定です。

11月8日(金)1本目がハウスの横に植樹されました。地域の佐々木文登さんと樹木医(樹木のお医者さん)の萱場淳治さんのご指導の下、植樹場所にあるツツジの移殖から始まりました。

まだまだ、細いエノキですが、これから大きな木に育っていくことでしょう。」

